

大隅半島発進映画

『マンゴーと赤い車椅子』

大隅ロケ無事終了！



大隅半島を舞台に、車椅子の女性の再起と仲間や家族との絆を描く映画『マンゴーと赤い車椅子』（仲倉重郎監督）の撮影が、12月17日（火）～21日（土）に行われました。

不慮の事故で半身不随となる主人公…宮園彩夏役を元AKB48の秋元才加^{さやか}さんが演じ、祖母役に三田佳子さん、大崎町のマンゴー栽培農家という設定の両親役に、榎木孝明さん（伊佐市出身）と愛華みれさん（南大隅町出身）がそれぞれ演じられました。

本町での主な撮影場所は、西平マンゴー園や社会福祉法人愛生会、羽子田人工授精所、くにの松原などで行われました。



社会福祉法人愛生会



羽子田人工授精所



4期目スタート 東靖弘町長

任期満了に伴う大崎町長選挙が平成25年11月26日（火）に告示され、現職の東靖弘町長以外に立候補の届出がなく、無投票での再選となり、12月21日（土）から4期目がスタートしました。

東町長は、「企業誘致や定住促進などに積極的に取り組み、ごみリサイクル6年連続日本一を達成した『人の環』『知恵の環』『資源の環』の三つの『環』を發揮し、住民参加のもと、職員ともども町民の皆様の期待に応えられるように、また、信頼を損ねることのないよう、活力ある大崎町をつくっていききたい。」と4期目の抱負を話されました。

『ひと・もの・

夢を育むまちづくり』

